

# 事業報告書

(自平成27年4月1日至平成28年3月31日)

## 1. 事業の概況

### (1) 平成27年度の事業概況

当財団は、住友グループ20社が現在の住友の諸事業の礎である別子銅山の開坑300年を記念して設立したもので、「人類社会の直面する諸問題の解決・改善を目的とする諸分野における研究及び事業に対し、国際的な視野をもって、時代の要請に適った助成を行い、もって人類の豊かな社会建設に資することを目的とする」助成財団（財団法人）として、平成3年9月25日に内閣総理大臣の設立許可を得て助成事業を開始しました。平成21年5月1日、新たな公益法人制度の下での公益財団法人に移行しております。

第26期の平成27年度は、5つの公募助成プログラムにおける応募件数が合計2,959件と引き続き高水準となる中で、非公募の「その他助成」（東日本大震災被災者・復興支援活動に対する助成等）を含めた総助成件数は280件、総助成金額は4億2千7百万円余の助成を実施しました。

経理面では、助成事業の財源となる運用収益は、引き続き運用環境の悪化による運用利回りの低下はあったものの、一部債券の買い替えに際し、相対的に利回り等の条件の良いものを取得したことから、雑収益含め当初予算対比3百万円余の増収となりました。これにより、助成金の予算比増額分および経費をカバーし、当期一般正味財産の期末残高は32億2千5百万円余となりました。

この結果、指定正味財産195億円と合わせ、当期末の正味財産残高は227億2千5百万円余となりました。

	助成件数(前年度比)	助成金額 (前年度比)
(イ) 基礎科学研究助成	98件(±0件)	160,000千円 (±0千円)
(ロ) 環境研究助成	48件(-5件)	100,000千円 (-10,000千円)
(ハ) 文化財維持・修復事業助成	37件(-5件)	70,170千円 (+390千円)
(ニ) 海外の文化財維持・修復事業助成	17件(-1件)	38,671千円余 (-3,904千円余)
(ホ) アジア諸国における日本関連研究助成	77件(-6件)	54,356千円余 (-5,545千円余)
(ヘ) その他助成	3件(±0件)	4,800千円 (-500千円)
合 計	280件(-17件)	427,997千円余 (-19,560千円余)

### (2) 経理の状況

世界経済は米国の利上げに伴う景気回復への期待がありましたが、欧州各国の景気低迷とデフレ懸念、新興国・資源国経済の先行き不透明感、さらには原油をはじめとする商品市況の低迷等から金融市場の不安定な動きや世界的な景気回復の遅れがみられます。わが国に於いては引き続きデフレ脱却と経済再生を目指す大胆な金融緩和と財政政策の拡大、就中、日銀の「マイナス金利付き量的・質的金融緩和」により長期金利は急速に低下し、

10年物国債の利回りがマイナスに転じるなど、かつてない異常な低金利状態が継続しています。このため一部債券の買い替えに際し、より運用利回りの良い債券の取得に努めたものの、運用収益は5億3千4百万円余となり、雑収益を加えて経常収益は5億3千6百万円余と、前年度比1千8百万円余の大幅減収となりました。

一方、今年度予算において、運用収益の減少が見込まれたことから環境研究助成並びにアジア諸国における日本関連研究助成の助成枠を前年度予算対比減額しました。もともと予算対比若干の運用収益増となった上に助成金を除く経費の圧縮により差し引き6百万円余収支尻の改善が見込まれたことから、海外文化財維持・修復事業助成並びにアジア諸国における日本関連研究助成の助成額を若干増加したこと等から助成金総額は4億2千7百万円余と前年度実績対比1千9百万円余の減少となりました。この結果、助成金以外の事業費と管理費の合計1億4百万円余と併せ、経常費用は5億3千2百万円余となり、その結果、当期経常増減額は6百万円余となりました。

一般正味財産の期末残高は、前年度比6百万円余増加し、32億2千5百万円余となり、一般正味財産に指定正味財産の期末残高195億円を加えた、当期末の正味財産残高は227億2千5百万円余となりました。

### (3) 平成27年度の助成

平成27年3月3日開催の理事会で決定された事業計画に基づいて、以下の助成を行いました。

#### (イ) 基礎科学研究助成

重要でありながら研究資金が不十分とされている基礎科学研究、とりわけ若手研究者による萌芽的研究に助成を行うもので、平成27年4月15日～6月30日に公募したところ、応募件数で平成26年度比23件増の1,572件、助成申請金額で同1億9百万円余増の49億7百万円余の応募がありました。

下記の13名の先生に選考委員を委嘱し、書面審査並びに7月28日及び9月7日開催の選考委員会で厳正な選考が行われ、98件の助成対象候補が選ばれました。

選考委員長	古在 由秀	国立天文台 名誉教授
選考委員	阿形 清和	京都大学 教授
	河合 誠之	東京工業大学 教授
	北村 雅人	名古屋大学 教授
	小森 悟	京都大学 教授
	塩見 春彦	慶應義塾大学 教授
	鹿内 利治	京都大学 教授
	菅 裕明	東京大学 教授
	鈴木 俊法	京都大学 教授
	坪井 俊	東京大学 教授
	仲野 徹	大阪大学 教授

西井 準治 北海道大学 教授  
平山 祥郎 東北大学 教授

選考委員会の選考結果に基づき、平成 27 年 10 月 8 日開催の理事会において審議の結果、98 件、助成金総額 1 億 6 千万円(事業計画どおり)の助成対象を決定しました。

採択者に対する助成金の交付は平成 27 年 11 月より行いました。

助成対象の明細は添付資料のとおりです。

#### (ロ) 環境研究助成

人類の直面している最大の問題の一つである環境問題に、研究助成という形で取り組んでいるもので、環境に関する様々な視点(人文・社会科学分野、自然科学分野)からの研究に助成を行っています。

「一般研究」と「課題研究」(本年度募集課題：喫緊の環境問題解決のための学際研究または国際共同研究)について、平成 27 年 4 月 15 日～6 月 30 日に公募したところ、応募件数で平成 26 年度比 61 件増の 603 件(うち課題研究 24 件増の 49 件)、助成申請金額で同 4 億 4 百万円増の 21 億 6 千 9 百万円余(うち課題研究 4 億 4 千 6 百万円余)の応募がありました。

下記の 7 名の先生に選考委員を、1 名の先生に専門委員を委嘱し、書面審査並びに 7 月 21 日及び 9 月 9 日開催の選考委員会で厳正な選考が行われ、48 件(うち課題研究 2 件)の助成対象候補が選ばれました。

選考委員長	御園生 誠	東京大学 名誉教授
選考委員	青木 周司	東北大学 教授
	中静 透	東北大学 教授
	波多野隆介	北海道大学 教授
	細田 衛士	慶應義塾大学 教授
	森口 祐一	東京大学 教授
	山地 憲治	地球環境産業技術研究機構 研究所長
専門委員	新田 裕史	国立環境研究所 環境健康研究センターフェロー

選考委員会の選考結果に基づき、平成 27 年 10 月 8 日開催の理事会において審議の結果、一般研究 46 件、課題研究 2 件、助成金総額 1 億円(事業計画どおり)の助成対象を決定しました。

採択者に対する助成金の交付は平成 27 年 11 月より行いました。

助成対象の明細は添付資料のとおりです。

#### (ハ) 文化財維持・修復事業助成

「心の豊かさ」と「文化」を大切にし、人類共通の財産である文化財を後世に継承す

るため、日本国内にある美術工芸品の維持・修復事業を対象として助成しているもので、平成 27 年 10～11 月に公募したところ、134 件（平成 26 年度比 21 件増）、助成申請金額で 2 億 3 千 6 百万円余（同 4 百万円余減）の応募がありました。

下記の 3 名の先生に選考委員を委嘱し、書面審査並びに平成 27 年 12 月 22 日及び平成 28 年 1 月 26 日開催の選考委員会で厳正な選考が行われ、37 件の助成対象候補が選ばれました。

選考委員	有賀 祥隆	東京藝術大学 客員教授
	根立 研介	京都大学 教授
	三輪 嘉六	前九州国立博物館 館長

選考委員会の選考結果に基づき、平成 28 年 3 月 2 日開催の理事会において審議の結果、添付資料記載の 37 件、助成金総額 7 千万円余（事業計画比微増）の助成対象を決定しました。

採択者に対する助成金の交付は平成 28 年 3 月より行っております。

## （二）海外の文化財維持・修復事業助成

上記（ハ）と同じ趣旨に加えて国際交流の観点から、海外にある文化財（美術工芸品及び遺跡）の維持・修復事業とその事前調査（維持・修復に直接つながるもの）を対象として助成しているもので、平成 27 年 10～11 月に公募したところ、13 カ国（文化財の所在では 18 カ国）から 36 件（平成 26 年度比横這い）、助成申請金額で 1 億 7 百万円余（同 3 千 5 百万円余減）の応募がありました。

国内の文化財と同一の選考委員会で選考の上、平成 28 年 3 月 2 日開催の理事会において審議の結果、添付資料記載の 17 件、助成金総額 3 千 8 百万円余（事業計画比 3 百万円余増）の助成対象を決定しました。

採択者に対する助成金の交付は平成 28 年 3 月より行っております。

## （ホ）アジア諸国における日本関連研究助成

国際相互理解増進の観点から、主に東アジアと東南アジア諸国における日本に関連する人文・社会科学分野の研究に対して助成を行っているもので、平成 27 年 9～10 月に公募したところ、16 の国・地域から、614 件（平成 26 年度比 166 件増）、助成申請金額で 7 億 1 百万円余（同 1 億 7 千 6 百万円余増）の応募がありました。

下記の 2 名の先生に選考委員を、10 名の先生に専門委員を委嘱し、書面審査及び平成 28 年 2 月 3 日開催の選考委員会で厳正な選考が行われ、77 件の助成対象候補が選ばれました。

選考委員	浅野 亮	同志社大学 教授
	金子 芳樹	獨協大学 教授

専 門 委 員	阿部 純一	霞山会 理事
	五十嵐誠一	千葉大学 准教授
	遠藤 元	大東文化大学 准教授
	倉田 秀也	防衛大学校 教授
	駒形 哲哉	慶應義塾大学 教授
	鈴木 絢女	同志社大学 准教授
	中野 亜里	大東文化大学 教授
	福島 康博	東京外国語大学 アジア・アフリカ言語文化研究所フェロー
	福田 円	法政大学 准教授
	本名 純	立命館大学 教授

選考委員会の選考結果に基づき、平成 28 年 3 月 2 日開催の理事会において審議の結果、添付資料記載の 77 件、助成金総額 5 千 4 百万円余(事業計画比 4 百万円余増)の助成対象を決定しました。

採択者に対する助成金の交付は平成 28 年 3 月より行っております。

#### (へ) その他助成

この助成プログラムは、理事会の直接の決定により

- ①本財団の将来のプログラム展開上、意義大と思われる研究及び事業に対する助成
- ②緊急を要するもので本財団としての対応が必要と認められる研究及び事業に対する助成
- ③事業計画に掲げた助成プログラムと関連し、これを補充、強化する研究及び事業に対する助成

等を行うもので、本年度は、平成 27 年 3 月 3 日、10 月 8 日開催の各理事会において決定された添付資料記載の 3 件、4 百万円余の助成を実施しました。

助成金の交付は、助成決定後順次行いました。

2. 役員・評議員（平成28年3月31日現在）

（50音順）

役名	氏名	主たる職業	備考
会長	杉村 隆	日本学士院長	
理事長	住友吉左衛門		
常務理事	蓑 康久	常勤	
理事	石 弘光	一橋大学 名誉教授	
	奥 正之	三井住友フィナンシャルグループ 会長	
	熊谷 信昭	大阪大学 名誉教授 兵庫県立大学 名誉学長	
	常陰 均	三井住友信託銀行 社長	新任
	長尾 真	京都大学 名誉教授	
	宮田 亮平	東京藝術大学 学長	
監事	矢野 薫	日本電気 会長	
	岩本 繁	東京経済大学 理事長	新任
	佐藤 義雄	住友生命保険 会長	新任
	渡邊 利夫	拓殖大学 学事顧問	
評議員	安部 正一	住友倉庫 会長	
	市川 晃	住友林業 社長	
	小野寺研一	住友不動産 副会長	
	茅 陽一	東京大学 名誉教授	
	柄澤 康喜	三井住友海上火災保険 社長	
	グレイ・クラーク	多摩大学 名誉学長	
	家守 伸正	住友金属鉱山 会長	
	古在 由秀	国立天文台 名誉教授	
	小林 俊一	東京大学 名誉教授	
	清家 篤	慶應義塾長	新任
	関根 福一	住友大阪セメント 社長	
	竹市 雅俊	理化学研究所 多細胞システム形成研究センター チームリーダー	
	友野 宏	新日鐵住金 相談役	
	中村 邦晴	住友商事 社長	
	中村 吉伸	住友重機械工業 会長	
	西原 春夫	早稲田大学 名誉教授	
	野依 良治	科学技術振興機構 研究開発戦略センター長	
	則久 芳行	三井住友建設 会長	新任
	林 茂	住友ベークライト 社長	新任
	細野 秀雄	東京工業大学 教授	新任
	松本 正義	住友電気工業 社長	
	森 重文	京都大学 教授	新任
	山田 康之	奈良先端科学技術大学院大学 名誉教授	
	吉川 恵治	日本板硝子 相談役	
	吉川 弘之	科学技術振興機構 特別顧問	
	米倉 弘昌	住友化学 相談役	

理事監事の任期は平成27年6月4日～平成29年の定時評議員会終結の時まで、評議員の任期は平成25年6月6日～平成29年の定時評議員会終結の時までです。

平成27年6月4日 任期満了により退任

理事 池端 雪浦

横山 進一

監事 常陰 均 （6月4日 理事に就任）

平成27年6月4日 辞任  
評議員 小川 富太郎

平成27年6月4日  
新任（備考欄記載）の理事、監事、評議員就任  
理事の互選により会長、理事長、常務理事就任

（注）会長及び理事長は代表理事、常務理事は業務執行理事です。

### 3. 職 員（平成28年3月31日現在）

職 名	氏 名	任用年月日	担当業務
事務局長	蓑 康久	平成23年 6月 3日	全 般
総務部長	海老原敬三	平成23年10月 3日	総務経理
企画部 助成担当部長	松永 明則	平成26年11月 4日	助成事業
〃	石塚 耕一	平成23年 8月 1日	〃
〃	茂木 勉	平成27年 4月 1日	〃
〃	新山 雅人	平成21年11月 2日	〃
総務部員	大場 純子	平成13年 3月21日	総務経理
企画部員	飯塚たま代	平成20年 8月 1日	助成事業
〃	熊本 博子	平成27年 2月 9日	〃
〃	栄森 有子	平成28年 1月18日	〃

期中の異動

企画部 助成担当部長 茂木 勉 平成27年 4月 1日任用  
(廣芝 博巳 平成27年 3月31日退任)  
企画部員 栄森 有子 平成28年 1月18日任用

### 4. 業務の適正を確保するための体制

当財団理事会は、当財団の業務の適正を確保するための体制整備について、概要次のとおり決議しております。

すなわち、「①コンプライアンスの徹底、②ガバナンスの確保、③ディスクロージャーの充実、の3点を柱として財団を運営することによって、業務の適正を確保する」という基本的考え方の下に行われてきた従来（公益財団法人への移行前）からの体制（注）を維持し、今後は必要に応じて内容を検討するという取扱いといたします。

（注）従来からの体制の骨格は、①各種関連規程に則った職務遂行によるコンプライアンス体制の確保、リスク管理の実践等、②会議・打合・報告による情報の共有化、事態への対応等、③年次報告書及びホームページによる開示を通じた業務の不適正化の抑止、によって形成されます。

### 5. 主要事業日誌

平成27年 4月15日～6月30日 「基礎科学研究助成」及び「環境研究助成」公募

5月12日 第23回理事会（決議の省略）

平成26年度事業報告及び決算承認

- 6月4日 第24回理事会  
代表理事・業務執行理事の職務執行状況報告
- 6月4日 第7回評議員会  
新任評議員選任  
理事・監事改選  
平成26年度事業報告及び決算報告
- 6月4日 第25回理事会  
代表理事・業務執行理事選定
- 7月21日 「環境研究助成」第1回選考委員会
- 7月28日 「基礎科学研究助成」第1回選考委員会
- 9月1日～10月31日 「アジア諸国における日本関連研究助成」公募
- 9月7日 「基礎科学研究助成」第2回選考委員会
- 9月9日 「環境研究助成」第2回選考委員会
- 10月1日～11月30日 「文化財維持・修復事業助成」（国内及び海外）公募
- 10月8日 第26回理事会  
平成27年度「基礎科学研究助成」助成先(98件)決定  
平成27年度「環境研究助成」助成先(48件)決定  
平成28年度「環境研究助成」の『課題研究』テーマ決定  
選考委員選任  
平成27年度「その他助成」助成先(1件)決定  
「セクシュアルハラスメント防止規程」制定  
「特定個人情報取扱規程」制定  
代表理事・業務執行理事の職務執行状況報告
- 12月22日 「文化財維持・修復事業助成」（国内、海外）第1回選考委員会
- 平成28年 1月26日 「文化財維持・修復事業助成」（国内、海外）第2回選考委員会
- 2月3日 「アジア諸国における日本関連研究助成」選考委員会
- 3月2日 第27回理事会  
平成27年度「文化財維持・修復事業助成」助成先(37件)決定  
平成27年度「海外の文化財維持・修復事業助成」助成先(17件)決定  
平成27年度「アジア諸国における日本関連研究助成」助成先(77件)決定  
平成28年度収支予算及び事業計画決定  
平成28年度「その他助成」助成先(3件)決定  
選考委員及び選考専門委員選任  
定時評議員会招集決定  
代表理事・業務執行理事の職務執行状況報告